



▲古くから石川の河岸問屋だった小吹家に伝わる古文書（小吹正中氏所蔵）
に目を通す市民記者の中村恵さん（右）。

高浜入江は風土記の時代、高浜の海といわれていました。霞ヶ浦は平安時代には“流海”といわれ海の姿であり、鬼怒川の運んだ土砂で外海と隔てられ“内海”とも呼ばれていました。霞ヶ浦と呼ばれるようになつたのは鎌倉時代のようです。

風土記の時代

「米は三年に一度取れば」とされた時代です。明治四十三年の洪水には、集落の道路を舟が往来し、昭和十年・十三年・十六年には干拓の堤防が決壊するほどの大水で、水田はそのたびに冠水。反面、かつての高浜入りは豊富な魚貝に恵まれ、舟運で賑わいました。今回は、石川湖岸の変遷をたどりながら、高浜入江の歴史を探つてみました。

護岸堤防が出来る以前、高浜入江に面した石川の湖岸は、たびたびの洪水に悩まされていました。江戸時代、正保から慶応年間までの石川村年貢割付帳には、毎年のように荒（検見減免）として水薙

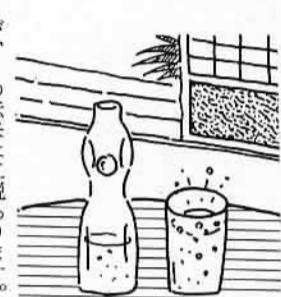
あり。ことが

た。
四年（一七八四）の常庭
内しるべに、表川（恋瀬
「川末は壹里下もの高浜
無畠毎と一つになる」と

ら六品川・松下川・浜卸川の川が入っています。十六年（一七〇三）の入図にも、三つの河口は藩として画かれています。石川では西浦・東浦といふ地名があり、この入江

一年（一六二五）、両岸領の村々があつたこの入水戸藩玉里御留川として直綱場となりました。御

石川河岸 の変遷は 湖の歴史 を物語る



享和三年（一八〇三）、常陸紅葉郡鑑にある石川村は、舟十三、川岸役三軒との記載があり、その数は御留川内の村で一番多かったようです。石川は、水戸の石川と区別するため南石川村とも呼ばれていました。

文政年間（一八一七）から弘化年間にかけての御留川請負証文では、石川・高崎・大井戸の請人が共同で、鮭縄漁・えさ堤を請負い、鮭漁や鳥鮭漁などが行われれ、運上金を上納した漁業が盛んでした。

水運としての石川河岸の発生は不明ですが、安永年間（一七八四）の幕府による川岸問屋の設定に登場しています。天明二年の高浜・高崎・石川の三河岸

明治三十年の芳賀町閑木治説
誌・関川の項には、

アオコや富栄養化が問題になり、水質浄化が叫ばれている現在、私たちは湖水への関心を持ち続けていきたいのです。

マキは大材・中材・小材に区分けされ、川岸は馬と人で賑わい、石川坂井戸は川岸通りと呼ばれました。今も石川の祇園祭には、源氏車の図案に“かし通り”と染められた祭り提灯が使われています。

明治十二年の村絵図には、間屋川岸を含めて、十の川岸が画かれています。肥料の藁草を陸川岸が姿を消しました。山崎の森の下に立つて筑波山ると舟溜りが出来て、すべての



議定書もあり、早くから水戸領主には「地に輸出す」とありました。しかし、盛んだつた漁業も昭和二十年代には、わずかに漁獲量が減少する傾向となりました。三十年代になると、入江の風物詩だった帆引船の姿も見られなくなり、四十年代半ばには湖岸に背を向けて浮ぶボラの流し釣りの小舟もなくなりました。コンクリートの堤防が完成すれば、もうすぐそこまで来ます。

▲7月26日に行われた下石川の祇園祭。祭り提灯には、往時をしのばせる『かり通』の文字と源氏車が描かれています。

つたのですが、現在は製品の数が増え人間も機械もすべて増えています。

A black and white head-and-shoulders portrait of a young man with dark, wavy hair. He has a gentle smile and is looking directly at the camera. He is wearing a light-colored, possibly grey or beige, turtleneck sweater. The background is plain and light-colored.

ひまわり談話室(66) インタビューヤング



▲この10年間、全国各地で18回もの個展を開いてきた陶芸家・鬼沢賢造さん。

陶芸生活十年を迎える 元市長・鬼沢賢造さん

この人と30分
(18)

東日本では珍しい巴型銅器が出土した竜神山麓の宮平遺跡。その南側に位置する峠遺跡が生涯学習の里の駐車場予定地であるため、八月から峠遺跡の発掘調査が始まりました。

これまでの確認調査では、縄文時代中期の住居址二軒・土坑三十二基・溝十五条と七世紀後半のものと思われる古墳三基が発掘されました。そのうちの一基は、石岡市で初の横穴式石室でしたが、盗掘によって遺物は非常に少ない状態でした。

この遺跡・約三千平方メートルの本調査は、九月下旬まで山武考古学研究所によって続けられ、宮平遺跡との関連性などが明らかにされるものと期待されています。

▲石岡で初の横穴式石室が発掘された
染谷の峠遺跡

—写真で綴る

35



▲貝地の護身地蔵尊の前で遊ぶ子供たち。
昭和31年冬の光景です。



▲昭和33年には全校生徒2,700人というマンモス校だった石岡小学校の運動会のひとコマ。三輪車の子供たちは入学前の園児です。

児童福祉の巡回相談

- 9月13日(水) 福祉会館
10:00～16:00
 - 担当職員：心理判定員
・児童福祉司・家庭相談員
 - 相談内容：子供についての悩み事・心配事・困り事など
 - 対象児童：0歳～18歳未満の児童
 - 申し込みは、9月11日(月)までに市役所福祉事務所家庭相談室へ。

が減らし、こんな恐ろしいことが起きないよう努力しなければなりません。

フロンガスを規制し炭酸ガスを減らすため、植物を大切ににするよう声を大にして人類の幸福を願いたいのです。

植物は寿命の長い生物で、口はきかないが、種子から若芽が出て、成長し立派な巨木になり人類に語りかけながら、黙々と世界を見つめている巨人です。

恐らく、巨木はこう言つてい

を持つた言葉は、日本以外にはないと思います。数えきれないほどこのうまい日本文化の良さを振り返って欲しいと願っています。

日本特有の言葉と表現の仕方に西群青・浅黄・萌黄・紫紺などがあります。

数億年前地球上に人間らしい生物が現われたらしいと推定されていますが、ここ千年、否百年ぐらいのわずかな間に人類

「日本には日本の季節風土があり、文化がある。皆さん私たちの美しい姿を見てください。私たち植物に触ってみてください。匂いを嗅いでください。曇んでみてください。」

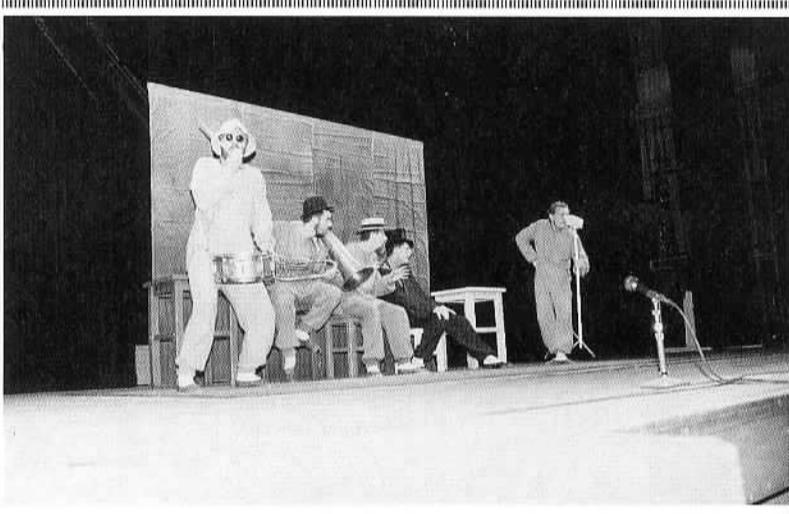


▲高浜お祭り実行委員会へ手作りの獅子頭を寄贈（7月24日）

寄贈したのは、茨城三丁目の小沢信夫さん(54)。これまでに20以上の獅子頭を手がけてきたという小沢さんの作品は、さっそく高浜神社拝殿前でおひろめが行われました。



▶昔の風習を伝える青屋祭（7月22日）
青屋神社（総社一丁目）に古くから伝わる風習があります。旧暦6月21日に青いススキを切って作った箸でうどんを食べるというものです。この日、準備は午前中に終わり、夕方から青屋祭は古式豊かに行われました。



▼熱気ムンムンの小学校水泳記録会（7月22日）

石岡市内小学校水泳記録会が石岡海洋センターで行われました。100mリレー・25m平泳ぎ・25m背泳ぎ・25m自由形などの競泳に、選手の頑張りにも負けないお友だちや父兄の応援。暑い屋外よりもっと熱いプールサイドでした。



▶人形劇に小学生たちが大喜び（7月29～31日）
国際人形劇フェスティバルが、市民会館で開かれ市内の小学生たちが招待されました。四か国（イギリス・インド・ボーランド・中国）の影絵やマリオネットが上場され、集まつたみんなは、ノスタルジックな夢の中。

● 国府中学校 遠藤 真先生（32）
三年生を担任する遠藤先生は三者面談などで大忙し。朝は、二人の子供を保育園へ送った後、濃紺のブレリュードで出勤しています。

福島県出身の遠藤先生は、二年後、東村立東小学校で教鞭をとり、昭和62年に国府中学校へ着任。

特技は碁と将棋です。ほとんど勝ちますね。生徒たちとですか？」と明るく答えます。

「面白い先生だけど、怒るとこわいんだ」と、江口優君。

菊地真由美さんは、「面白い。つまらないしゃれが」と話して

まちのできごと

●お祭り間近の6P●



▲雨の中、元気に子ども会幹部のキャンプが開催！（7月28日～8月3日）

子ども会幹部のキャンプが、波付台キャンプ場で開かれました。高校生のお兄さんやお姉さんの手ほどきで、テントを張ったり、飯ごう炊はんでカレーを作ったり、夜は楽しいキャンプファイヤー、と盛りだくさん。雨にも負けず、元気いっぱいに頑張りました。

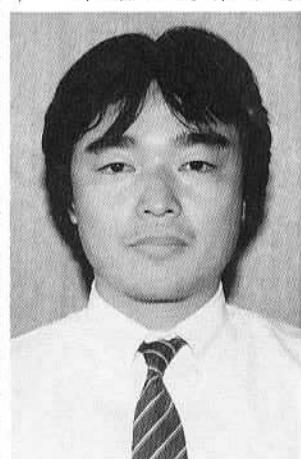


▶石川の八幡正三さんが「禅画の家」を開店

「人の心は禅画より」と関川小学校の前に禅画の展示室を開いた八幡正三さん（74）。室内には数十点の水墨画や書が展示され、同好の人たちの目を楽しませています。

ほくうの名物先生

56



くれました。中学校ではバスケット、高校ではサッカーを、柔道は初段の腕前というスポーツマン。現在は、陸上部の顧問です。

「素直なままで、自分自身を見失わずに、生き方も自分なりに切り開いて欲しいですね」とは、生徒たちへの先生の願いであります。

「ギラリと光るその白い歯がいく」と言ふ。女生徒たちから遠藤先生への

俳句の部

泉町 醍醐 味風
白あじさい母が真水となりし朝
大谷津 海老沢 明子
府中二竜 はつ
総社二 楚阪 和彦
大谷津 海老沢 明子
素晴らしき夢に翅生え雲の峰、
ゆび先に句碑読ませけり青葉開

光る庵丁女の命
川で自由な鮎でよい
國府一篠原 東陽
続く梅雨にも浮かぬ銷
國府六常山 真砂
嫁の看護に手を合わす
國府六常山 真砂
家族悩ます恍惚の人
光る国会
つくりたい
國の政治の汚点を消して
光る国会

光る庵丁女の命
川で自由な鮎でよい
國府一篠原 東陽
続く梅雨にも浮かぬ銷
國府六常山 真砂
嫁の看護に手を合わす
國府六常山 真砂
家族悩ます恍惚の人
光る国会
つくりたい
國の政治の汚点を消して
光る国会

7月の市内交通事故

発生件数 21(144)
死者 0(1)
傷者 27(194)

()内は本年1月からの累計

くらしのガイド

★市役所☎3-1111 ★市民会館☎2-5187 ★テレホンサービス☎3-3333

休日・夜間緊急診療

●休日受付 午前9時~11時30分 (歯科診療は11時30分まで)

午後1時~3時30分

●夜間受付 午後7時~10時30分まで

月 日	産婦人科	外科	内科・歯科 小児科	夜間 内科・小児科
8月	桧山 医院 ☎6-3812	石岡市医師会病院 ☎2-4321	メディカル センター ☎4-1386	9月 2日・3日
	松葉病院 ☎3-2157	同愛病院 ☎2-2261		9日・10日
	桧山 医院 ☎6-3812	府中病院 ☎2-2146		14日・15日
	富田産婦人科医院 ☎3-0311	田中病院 ☎3-2288		16日・17日
	松葉病院 ☎3-2157	根崎 医院 ☎3-6611		22日・23日
	飯田 医院 ☎2-2268	石岡第一病院 ☎2-5151		24日・30日
	桧山 医院 ☎6-3812	滝田整形外科病院 ☎3-2071		メディカル センター ☎4-1386

ふるさと 散歩道(80) が今出たゾ!



▲お祭りの出し物の中で最とも古く格式のある富田のささらとその保存会のメンバー。

会の二十名近い会員たちは、お祭りを目前にひかえ毎週お囃子の練習を行っています。富田町青年会(海老沢誠一会長)の若いメンバーも加わり、伝統芸能の保存に一役買っています。

富田のささらは中々に格式が高く、今でも年番町は最初にささらの元へあいさつに行き、渡御(神輿の行進)の露払いをお願いしています。

富田のささらが今出た今出た。かつてはささらが出るとそんなはやし言葉が聞かれました。

屋台の上で舞う異形の三匹の獅子。それは老獅子・若獅子・

今年はささらが出るそうだ。
かつて八月になつてそんなうわさを聞くと、何となく例年と違った祭りを期待した人が多かったようですね。昔の「富田のささら」は、年番の年か数年置きにしか参加しなかつたのです。

ささらは、七度半の迎えを受けて出るといわれ、神幸祭・還幸祭の両日に神輿の露払いの大役を務めています。

「今年は、相町・国分町がお祭りの年番なので、もちろんささらは出ますよ」と教えてくれたのは、富田町ささら保存会会長の幕内宗一さん(51)。保存

納期を忘れないでね

市県民税(2期)

個人事業税(1期)

国民年金保険料

国民健康保険税(3期)

国民年金保険料

こんな赤ちゃん

●小菅雅翔くん
一歳二ヶ月
国府六丁目



消防署に勤めるお父さんの黒さん(30)がお休みの日には、一日中いつしょに遊ぶ雅翔くん。「しつばが軽い」というか、犬のような性格で、人見知りをしない

「近くにある国府公園の砂場

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅翔くんは、元気いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ることができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

嬉しいです」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ

る子になつて欲

しいですね」とお母さんから

いります。

「お母さんから

心配顔で話してくれたお母さん

おじもしない雅

翔くんは、元気

いっぱいに、今

日も家のなかで動

き回っています。

「片寄らずに

広い目で物事を

見ことができ